

# 令和5年 山岳遭難発生状況

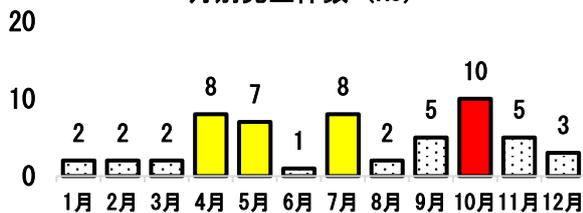
地域課

## 1 山岳遭難発生件数等

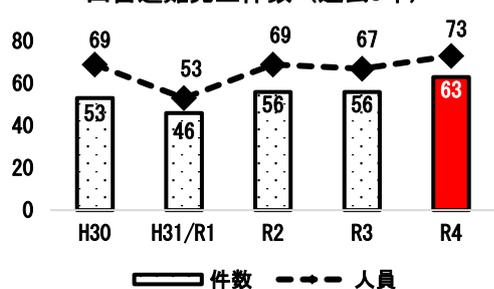
件数	55
人員	70
死亡	3



月別発生件数 (R5)

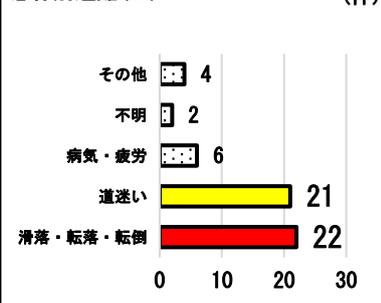


山岳遭難発生件数 (過去5年)

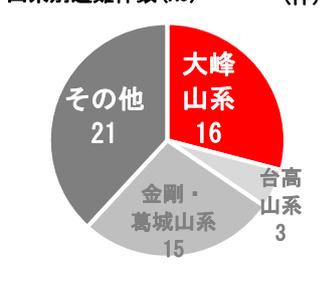


- ・ 山岳遭難の発生は令和4年より減少しましたが、近年は高止まりの状況にあります。
- ・ 遭難は大峰山系で多く発生していますが、近年は金剛・葛城山系やその他の山系（身近な低山）でも多く遭難が発生しています。
- ・ 山岳遭難は春の行楽期、夏、紅葉シーズンに増加する傾向があります。

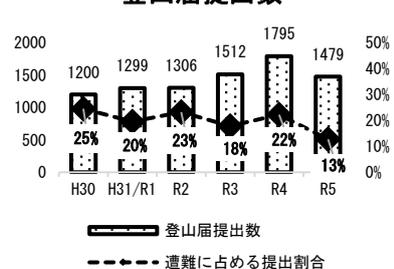
態様別遭難 (R5)



山系別遭難件数 (R5)



登山届提出数



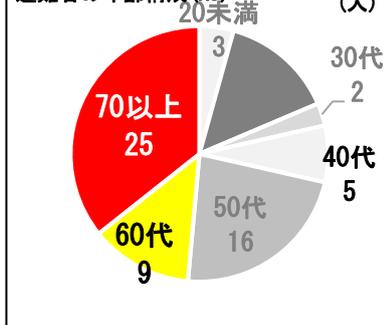
## 2 遭難者の特徴

死傷別	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
死亡	9	8	3	7	6	3
行方不明	0	2	2	1	0	3
重傷	9	7	14	10	10	4
軽傷	14	10	14	19	20	15
無事救出	37	26	36	30	37	45

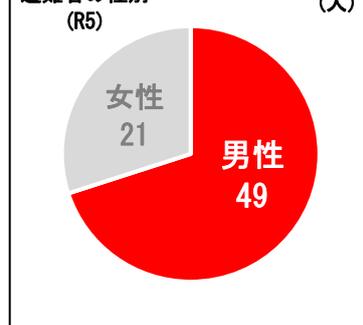
- ・ 60歳以上の遭難者が全体の約半数を占めています。
- ・ 滑落・転落・転倒や道迷いによる遭難が大半を占めます。



遭難者の年齢構成 (R5)



遭難者の性別 (R5)



遭難者住居地 (R5)

